



山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



あいさつする栗山理事長



鏡開きをする代表たち

組合員の理解・協力・結束呼びかける

新年
互礼会

栗山理事長、安心な街づくりも強調

山梨県流通センター新年互礼会は、平成28年1月7日（木）流通会館第2展示場で開かれ、組合員・来賓合わせて70人が出席した。

冒頭、栗山理事長は昨年の取り組みに触れ、「当組合は組合員企業が安心して事業活動ができる安全・安心な街、企業活動に最適な街づくりを目標に掲げ運営を行った。また、組合の現状として①長年の懸案であった下水道問題が解決できることになった。②会館設備

の老朽化が著しく設備の更新を行った。③未来検討特別委員会で、組合のあるべき姿・将来像の検討協議を行っている」と述べた。そして今後さらに発展すべく組合員の理解と協力を求め、更なる結束を呼びかけた。

来賓として、後藤知事、中央市の田中市長、中小企業団体中央会の松葉会長から祝辞をいただいた。祝辞に続いて栗山理事長、来賓9人による鏡開きが行われ、参加者全員で新年を祝い合った。

企業活動に最適な街へ

会館のLED化実現



平成28年、年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年はアベノミクス効果により、円高・株高が進み首都圏企業及び大企業は長く続いた景気低迷から脱したといわれていますが、地方の中小企業には、アベノミクスの恩恵は程遠く景気の高揚感は些少の感があります。

当組合は、組合員企業が安心して事業活動ができる「安全・安心なまちづくり」「企業活動に最適なまちづくり」を目標に掲げ、何よりも強固な財務基盤の確立を目指しつつ、防犯監視カメラの設置をはじめ種々の施策を実施しております。また、経年劣化の空調、照明、その他の設備並びに施設の更新をはじめ、「企業立地」としての最適な環境づくりを行っております。特筆すべき事項は、流通会館の照

理事長 栗山 直樹

明器具のLED化・空調設備の入れ替えで、30%強の節電効果があり思わぬ費用節減に役立っております。加えて、昨年は自前の下水道施設を中央市へ移管することに合意しましたので、臨時総会承認後の4月1日より正式に移管することができるようになり、20数年来の課題解決が目前となりました。

また、組合員の若手経営者を中心に10年先の組合のあるべき将来像を提言する未来検討特別委員会を設置し、特に老朽化の著しい組合建物のあり方、また、組合員の社屋等の老朽化に伴う移転・建て替えの課題を軸に2グループに分かれて協議中であります。来年度末の提言を目指して鋭意協議をお願いしております。

結びに、関係各位並びに組合員皆さまの今年度におけるますますのご発展とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

中小企業支援強化図る

希望に満ちた県づくり明示

山梨県知事 後藤 斎



新年あけましておめでとうございます。

協同組合山梨県流通センターの皆様には、輝かしい新年の幕開けを迎え、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から、栗山理事長をはじめ、役員、組合員の皆様には、本県経済の発展に多大な御尽力を賜り、深く感謝いたします。

わが国の景気は、雇用が改善しており、一部に弱さは見られますが、緩やかな回復基調が続いているとされております。また、本県の景気も個人消費が底堅く推移し、生産は一部でなお弱含んでいるものの、全体としては持ち直しつつあります。

このような経済情勢の中にあって、昨年12月、県政運営の新たな指針となる「ダイナミックやまなし総合計画」を策定いたしました。

すべての県民が明るく、希望に満ち、安心して暮らせる「輝き あんしん プラチナ社会」の実現に向け、中小企業の成長と持続的な発展、個性あふれる地場産業の振興、にぎわいを生み出す商業・中心市街地の活性化など、本県の経済基盤の強化を図るための施策を展開して参ります。

本県企業の99.9%は中小企業・小規模事業者であり、地域経済や雇用を支える極めて重要な存在であると認識しております。

このため県では、中小企業・小規模事業者を支援するための条例の制定に向けて取り組んで参りましたが、2月定例県議会に条例案を提案することとしております。

流通センターにおかれましては、県内卸売業の中枢として、本県経済の発展のために、より一層の御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様の御健勝、御繁栄を心から御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

実り豊かな生活文化都市目指す

流通センターの協力に感謝

中央市長 田中 久雄



明けましておめでとうございます。協同組合 山梨県流通センター組合員の皆様方におかれましては、希望に満ちた平成二十八年の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より栗山理事長をはじめ、組合員の皆様方におかれましては、中央市の市政運営に多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

中央市も本年二月二十日に市制施行十周年迎えました。今後も、誰もが住みたく、住んでよかったと思えるまち「実り豊かな生活文化都市」の実現に向けて、皆様と協働で邁進してまいりたいと思っております。

さて、第二次安倍内閣の経済政策、いわゆる「アベノミクス」は三本の矢を柱に政策を行ってまいりましたが、経済成長を促す上で一層強化し、民需主導の経済の好循環を確立させるため、第三次安倍内閣で

は、わが国の構造的な問題である少子高齢化に対する政策として「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の新・三本の矢の実現を目的とする「一億総活躍社会」に向けた政策を打ち出しました。それぞれの矢を実現することで五十年後も人口一億人を維持し活力ある日本になるというものです。いずれにしても、この政策が一体的に実行される必要があり、緩やかでも国民や企業が豊かさを実感できる政策となることを期待しています。

流通センター組合員の皆様方におかれましては、引き続き、地域経済の代表として先頭に立ち、地域に根ざした経済活動を展開されますようお願いしております。県内、流通卸業がより一層の躍進を遂げますことを心より御期待申し上げます。

結びに、今後とも市政に対しまして、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、協同組合山梨県流通センターの益々のご発展をご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

「下水道施設移管」説明会を実施

災害発生時の修繕費用負担リスクが回避される

10月6日(火)、中央市への下水道移管に関する全体説明会を中央市下水道課担当者同席のもとに開いた。

懸案となっていた中央市への下水道移管問題については、中央市と関係機関との協議が進み、「平成28年4月1日に移管」することになった。

説明内容の要約は下記の通りである。

1. 現状の問題点

現在は、よし原処理センターで処理を行っているが、老朽化が激しく、耐震化も進んでいない状況であるため、維持管理をしていくためには、市・3企業負担が非常に大きくなっている。また、老朽化に伴う改修や更新・災害等が発生した場合の下水道管渠復旧費用については、組合が所有しているため、各組合員の負担になる。

3企業所有の管渠が古く破損・漏水が多く見られるため、早期の改築・修繕が必要となる。

2. 下水道移管に伴うメリット

- ・今後、下水道管渠の老朽化に伴う修繕費用等の負担がなくなる。
- ・地震等災害発生時の下水道管破損に伴う、修繕費用負担リスクが回避される。

3. 下水道移管に伴うデメリット

- ・下水道移管に伴う費用負担が発生する。
- ・下水道移管処理を早急に行わないと、修繕費用が増加し、財産価値が下がるので負担金額が増加する。
- ・組合員は、新たに下水道使用料金負担が発生する。

4. 受益者負担金の軽減措置

- ・よし原審議会、下水道審議会、中央市市議会、に受益者負担金の免除を申請。



下水道移管に関する説明会

5. その他（留意点）

- ・移管費用負担金の支払は、分割支払の方法により中央市に納入する。
- ・下水道移管後は、中央市が下水道管渠の改築・修繕を行う。
- ・中央市が下水道管渠の改築・修繕をおこなう間、よし原処理センターは稼働させ、不明水が市事業計画地下水量11.8%以下になった時点で、公共下水に接続していく予定。将来的には、よし原処理センターは稼働中止となる。
- ・下水道移管後の修繕費用は、中央市が負担する。
- ・組合員の所有地内で雨水が下水道排水施設へ流入している場合は、組合員の負担により改修を行う。
- ・井戸水をトイレ等に利用して下水道に流している場合は、中央市の負担で水量使用メータの設置を行う。

(中央市下水道課で下水道についての調査を実施)

なお、下水道移管に関する事項について不明な点については、組合事務局までお問い合わせください。

ケヤキ通りの化粧直し行われる

余分な枝伐採、道路スッキリ

1月12日から15日にかけて、以前から中央市に要請していた流通会館前の「ケヤキ通り」のケヤキ伐採が行われた。

すっきりとした景観となり、団地環境整備が維持された。



流通センター会場予約システム運用開始

山梨県流通センターでは、八戸総合卸センター、(株)共同電算センターの協力により、WEB上から貸会場の空室状況確認や予約申込ができるシステムを平成27年11月2日(月)より本格稼働しました。

このシステム導入により、24時間×365日、パソコン、スマートフォン、タブレット等の携帯端末からもタイムリーに状況確認・申込が可能となり、ユーザーの利便性が格段に向上致しました。

また、組合事務局側では、予約管理の手間も軽減されることから、本来の目的であるサービス向上を目指します。

基本的な予約の流れ

- ①ユーザー登録 (初回のみ)
⇒IDをメールで通知
- ②ログイン (ID・パスワード入力)
- ③空室検索 (会場・日時)
- ④申込内容入力
- ⑤申込内容と料金を確認し「仮予約送信」
⇒仮予約完了をメール通知
- ↓
- ⑥事務局にて内容確認し予約承認
⇒予約確定をメール通知
(※利用者は、上記①～⑤を操作)

トップ画面 (<http://yrc-yoyaku.com/>)

①ユーザー登録 (初回のみ)

※ID 発行の通知メールが発信される

②ログイン (ID・パスワードを入力)

④申込内容入力

⑤内容確認し「仮予約送信」

※仮予約完了の通知メールが発信される

秋田卸センター代表が来局

当組合の概要説明して交流

昨年10月15日（木）、協同組合秋田卸センターの組合員が来局した。一行は桑原理事長はじめ7人。かねてから大型商業施設誘致後の状況や課題、防犯カメラの設置および効果、生活改善委員会（インターネット販売事業）の状況、今後の事業展開等について意見交換の申し入れがあり、今回の来局となった。

栗山理事長と事務局員が出迎え「ホームセンターくろがねや」の視察や流通会館内を見学した後、役員室で当組合の概要説明を行い、予定した課題については質問に答える形で議論が行われた。予定していた2時間は瞬く間に過ぎ当組合での日程を終了した。



活発な団地活動に触発される

LoMAの会 静岡、沼津、浜松団地の青年部と交流

昨年10月3日（土）、協同組合浜松卸商センターで第3回山梨・静岡青年部団地情報交換会が開かれた。協同組合静岡流通センター青年部会、協同組合浜松卸商センター翔友会、協同組合沼津卸商社センター金曜会、協同組合山梨県流通センターLoMAの会の4団地から28人が参加した。

各団地は、団地の現状や取り組み、青年部の活動等について発表し、意見を交わした。他の組合では、駐車場に巨大なスクリーンを設置して自動車に乗ったまま映画を観賞する「ドライブインシアター」を行っていたり、お祭りを年3回開いていたりと、青年部が主体となって団地に活気をもたらし、地域に貢献する様子が見受けられた。

また、前回の情報交換会での他団地青年部の活動を参考にして、青年部の会員を増やすことができたという報告する団地もあり、情報交換会の意義を感じた。

今後他団地の活動や現状を知り、触発されながら、当団地の活性化に繋げていきたい。



意見を交換し合う青年部員たち

マイナンバーのポイント学ぶ

説明会に57人が出席



社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、昨年10月21日（水）に、税務手続き面を中心としたマイナンバー制度説明会が開かれた。

講師は、藤原会計事務所所長 顧問税理士 藤原千穂氏。7月に開いた社会保険手続き面を中心とした説明会にも多数の参加があったが、今回も組合員・準組合員、中央市商工会、トラックターミナル協同組合から57人が出席し、関心の高さが伺えた。

ポイントのみの説明会であったが、7月時よりもより具体的になった説明に、皆真剣に聴き入っていた。

日医工山梨が初優勝

ソフトボール大会 13チームが熱戦を展開



優勝した(株)日医工山梨グループ

平成27年度流通センターソフトボール大会が昨年10月25日（日）に釜無川スポーツ公園グラウンドで行われた。

開会式は中込武文研修・厚生委員会委員長のあいさつで始まり、審判長から注意事項の説明があり、恒例のラジオ体操を全員で行ってから予定通り試合開始となった。

参加チームは13チームで4グループに分けてリーグ戦またはトーナメント戦を行い、勝ち残った4チームが準決勝、決勝へ進んだ。

勝ち上がったのは、(株)日医工山梨グループ（(株)日医工山梨）、マコト（マコト医科精機(株)）、(株)渡辺商店、チームRITZ（(株)RITZ）の4チーム。

決勝戦は(株)日医工山梨グループと3回の優勝経験



準優勝したチームRITZ

があるチームRITZの戦いになり、14対8で(株)日医工山梨グループが初優勝を果たした。2位はチームRITZ、3位は(株)渡辺商店、4位はマコトという結果であった。3位と4位は同点のためトスで順位を決め、白熱した試合となった。



マコト医科精機Aが優勝

北ブロックボウリング大会 個人は飯島諒さんがトップ

北ブロック懇談会の第8回目ボウリング大会が、昨年11月20日（金）、ダイトースターレーン双葉で行われた。今回は7社から22チーム、計88人が参加した。

団体の部（2ゲームトータル）

順位	チーム	メンバー	スコア
優勝	マコト医科精機 A	飯島、堀内、坂本、伊藤	1262
準優勝	中央物産 A	保坂(吉)、保坂(彰)、村松、小林	1170
3位	甲府情報システム A	若宮、遅澤、望月、早川	1130

※敬称略

個人の部（2ゲームトータル）

順位	氏名	会社名	スコア
優勝	飯島 諒	マコト医科精機(株)	367
準優勝	村松 松司	中央物産(株)	357
3位	中込 武文	甲信食糧(株)	338

団体の部はマコト医科精機(株)Aが2ゲームトータル1262で優勝し、個人の部は、飯島諒さん（マコト医科精機(株)）が2ゲームトータル367で優勝した。



会社の枠を超え会話ははずむ

社員
交流会

過去最多の159人が参加



第5回社員交流会（井上雅博運営委員長）が、昨年12月11日（金）、流通会館第2展示場で開かれた。今回は予想を大きく上回る、過去最多159人の参加があり、会場は終始大にぎわいとなった。

今回は県内の有名洋菓子店をメインに1000個のスイーツを用意し、食事は㈱富士メディカルサービスにご協力いただいた。カラフルなスイーツ、美味しそうな料理に女性のみならず、男性も食指を伸ばし、あっという間に1000個のスイーツと料理がなくなった。



運営委員が企画したイベント「コーラ早飲み大会」「お絵かき対決」「抽選会」は、社員同士の会話のきっかけになり、楽しんでもいただくことができた。

今後も新しい企画を取り入れながら、団地内の従業員の方々が楽しめるイベントを行っていききたい。

運営委員及び景品提供にご協力をいただいた企業

(株)アドヴォネクスト	(株)正直堂
(株)イイダ	BE・ナショナル(株)
(株)オオキ	(株)マルモ
甲信食糧(株)	(株)山梨中央銀行
CIH(株)	(株)渡辺商店
シキシマ醤油(株)	

ご協力ありがとうございました。



組合従業員対象予防接種を行う

インフルエンザに備え手洗い徹底へ

インフルエンザの流行に備えて、昨年11月19（木）、20（金）の両日、インフルエンザ予防接種を行った。今回が初めての試みであったが、仕事の合間に気軽に受けられることもあり、17社から107人の申込みがあった。

今年は暖冬と言われているものの、1月中旬からは朝晩の冷え込みも厳しく、インフルエンザも流行期に入ったようだ。手洗い・うがい等を小まめにを行い、体調管理には是非気を付けていただきたい。



新入社員フォローアップ研修

基本的事項学び直す

新入社員フォローアップ研修が昨年10月14（水）、15（木）の両日、流通会館大会議室で開かれ、6社から11人が参加した。

講師は4月の新入社員研修に続き、コミュニケーション・アカデミーの鬼塚啓介先生。今回は、自己の振り返りを中心に職責の基本行動の確認やビジネスマナーの再チェック、問題解決の方法等を学び、レベルアップと今後のモチベーションアップを図ることを目的に行われた。

研修はグループ討論をしたり、訪問マナー等のロールプレイングを実施したりと、グループワーク中心で進められ、さまざまな悩みを抱えた出席者との交流も活発に行われた。

参加者たちからは「成長した点や至らない点に気づくことができた」「忘れていた基本的なことを学び直すことができた」等の声を聴くことができ、有意義な研修となった。



フォークリフト運転技能アップ

湯村自動車学校で講習会開く



組合の認定職業訓練コースとして、本年度2回目のフォークリフト運転技能講習会が昨年11月21（土）、22（日）、28（土）、29（日）の4日間、湯村自動車学校で開かれた。この講習会への関心は高く、今回も5社から13人が参加する人気の講座となった。

水消火器使い消防訓練

9社から18人が参加、放水も行う

秋の火災予防週間に合わせ、流通団地で働いている従業員を対象に平成27年11月17日（火）、消防訓練が行われ、9社から18人の参加があった。

当日は、甲府南消防署田富出張所の消防隊員4人の指導のもと、まずは、水消火器を使った初期消火訓練を実施した。

次に、屋外消火栓の操作方法を学んだあと、実際に、近くの川の中州に向けて放水訓練を実施した。



消火器の使用にしても、屋外消火栓からの放水にしても、普段あまりやらないことである。こういう機会に、経験してみるとしなやかではとっさの時に違いが出てくるので、組合員従業員には積極的に参加してほしい。

なお、流通会館でも年に1回、放水訓練を実施し、いざというときに備えている。



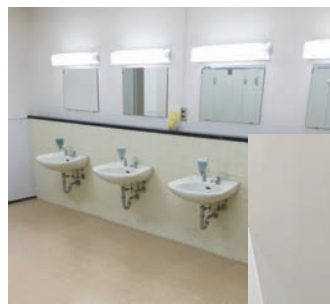
会館のトイレ改修される

床張り替えなどで全体明るくなる

このほど、流通会館のトイレ改修工事が行われた。和式トイレを全て洋式トイレに改修し、床を張り替え、トイレ全体が明るくなった。今後も会館利用者が使いやすいよう設備の更新を行っていく。



Before



After

全国健康
保険協会より
お知らせ

ジェネリック医薬品を使いましょう!!

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許が切れた後につくられ、新薬と同一の有効成分を含み、効き目や安全性が同等であると国から認められたお薬です。

新薬は開発に多額の費用・時間がかかりますが、ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、開発期間が短く低コストなため価格も安くなっています。

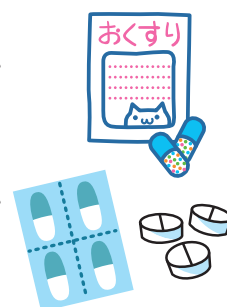
ジェネリック医薬品の使用割合（数量ベース）は、全国平均60.5%（1位は沖縄県の74.5%）ですが、山梨県は全国と比べると普及が進まず51.8%（46位で、ワースト2位）という状況です。

今後、医療費の伸びを抑制したい厚生労働省として

は、ジェネリック医薬品の使用をますます増やしたいと考えており、使用状況によって都道府県の健康保険の料率にも影響することが予想される状況にあります。そのようなことにならないためにも、県民のジェネリック医薬品の使用をお願いしたいところです。

まずは、かかりつけの医師または薬剤師に相談をしてください。

なお、ご不明な点がございましたら、全国健康保険協会山梨支部（055-220-7750）にお問い合わせください。



ご案内 お得な商団連グループ保険加入のご案内

全国卸商業団地協同組合連合会（商団連）グループ保険は、手厚い保障に加えて手頃な掛金で加入いただくことができるともお得な保険です。従業員個人で加入できる、これも大変お得なファミリー保険もあります。（配当が毎年3割程度あります）

詳細は住友生命保険相互会社の担当者が訪問して説明させていただきますので、加入をご検討いただける企業・従業員の方は、気軽に事務局へお声かけくださいますようお願い致します。

個人向けプラン 主契約 保険金200万円の場合

保険年齢	男性掛金	女性掛金
15～35歳	490円	391円
36～40歳	564円	481円
41～45歳	670円	535円
46～50歳	858円	639円
51～55歳	1,152円	781円

流通センター事務局 TEL：055-273-4711

組合員変更事項

組合員名	変更前	変更後
マコト医科精機(株)	社長 諸平秀樹	会長 諸平秀樹 社長 諸平あゆみ
国分首都圏(株) 山梨支店	首都圏国分(株) 山梨支社 支社長 中村賢一	国分首都圏(株) 山梨支店 支店長 森川泰敬

当組合は、12月6日に行われた第8回中央市社会福祉大会で、山梨県共同募金会会長から大口募金者として感謝状を贈呈されました。

『事務局日誌』 ～10、11、12月、1月の主な会議等～

- ◆10月 3～4日 山梨・静岡卸団地青年部交流会
6日 赤い羽根共同募金にバザー売上金贈呈
6日 正副理事長会議
6日 下水道管移管全体説明会
8～9日 関東甲信越卸商業団地連絡協議会
9日 未来検討特別委員会Bグループ会議
13日 リサイクル・一斉清掃日
14日 未来検討特別委員会Aグループ会議
14～15日 新入社員フォローアップセミナー
15日 (協) 秋田卸センター来局
19日 事務局消防訓練
21日 税務手続き面を中心としたマイナンバー制度説明会
23日 中央市田富よし原処理センター特別審議会
25日 ソフトボール大会
27日 県火災共済代理所会議
28日 北ブロック懇談会
28日 社員交流会運営委員会
- ◆11月 4日 正副理事長会議
5日 社員交流会運営委員会
6日 未来検討特別委員会
8日 南ブロックゴルフコンペ
12日 リサイクル・一斉清掃
12日 生活改善委員会
13日 中央市商工会10周年記念式典
17日 団地内初期消火訓練
19～20日 インフルエンザ予防接種
20～22日 全国中小企業団体中央会全国大会
21～22日 フォークリフト講習会
23日 青年部LoMAの会ゴルフコンペ
26日 理事会
28～29日 フォークリフト講習会
- ◆12月 1日 正副理事長会議
1日 社員交流会運営委員会
3日 認定職業訓練校監査
4日 南ブロック懇談会
4日 北ブロック懇談会
6日 中央市社会福祉大会
9日 生活改善委員会
10日 未来検討特別委員会Bグループ会議
11日 社員交流会
14日 リサイクル・一斉清掃
22日 東ブロック懇談会
30日 事務局仕事納め
- ◆1月 5日 事務局仕事始め
7日 新年互礼会
7日 正副理事長会議
7日 社員交流会反省会
12日 リサイクル・一斉清掃
20日 総務委員会
22日 理事会、役員新年会
27日 職業訓練「速読術研修会」(2/17まで)
29日 西ブロック懇談会

かいがね

11月に、一人で「山の辺の道」を歩いた。以前からその機会を待っていたのだが、ようやく願いがかなったという訳だ。ご存知ない方もおられると思うので山の辺の道について少し触れる。大和盆地の東縁を南北に縫う古事記にも出てくる道で、おそらく七世紀末期頃には出来ていただろうと言われる。今回歩いたのは天理から桜井に至る約16キロの道のりである。石上神宮から三輪山のふもと大神(おおみわ)神社に至り、途中崇神天皇陵や景行天皇陵など多くの古墳や古寺社が点在し、歴史を感じることができるハイキングロードとして整備されていて歩くのに心地いい。

スタートの天理駅に降りたのは9時頃だった。天理は言わずと知れた天理教の本拠地である。天理教本部の前を過ぎると石上神宮の森に着く。物部氏の氏神と言われ日本最古の神社の一つだ。鬱蒼とした木立の佇まいは時の流れを忘れさせ、それから先は歩くしかない森や田園の中をたどる道である。しばらく歩いて昔は濠に囲まれていた竹之内集落に入る。道端に座る老人、私が通り過ぎようすると「だんなさん、どちらから来なすった」と声をかけてきて「山梨、山梨からですよ」と答えると「山梨。そりゃまあ遠くから」と、感心した様子。寺社への参拝、古墳や万葉の歌碑などをたどり、昼は元伊勢と称される檜原神社の前に一軒だけある茶店で休んだ。客は私しかなくて六十がらみの女主人が一人でやりくりしている。ぜんざいを頼むとあれこれ教えてくれて、山の辺の道を少し外れて二上山や卑弥呼の墓とも言われる箸墓古墳が臨めるところまで足を延ばすことにした。

この頃から雨が落ちてきて傘をさす羽目となった。少し前に歩いた信玄の棒道も雨でこのところ雨に見舞われることが多い。とは言え、雨もまた風情である。途中、私とは逆に桜井の方からくる人たちにもしばしば出会う。二人連れも目につき、私のように一人歩きはあまりいない。外国人はほとんど見かけず、わずかに欧米系の人を見ただけでアジアからの人は皆無だった。道沿いには農産物の無人販売所が多い。今は柿だ。随分安いように思ったが荷物になるので買うのは控えた。因みに御所柿は奈良の御所市が原産と聞いたが売られているのはほとんどが富有柿だった。

ゴールが近い「大和一の宮」大神神社に着いた頃は雨脚が強くなり、行き交う人も少なく、案内標識を見失って迷っていると足取りも軽く近づく七十歳台と思われるご婦人、地元の人で桜井駅近くまで同行してくれると言う。道々歩きながら私が山梨から来たことを話すと、年に1、2回は身延の七面山に登り、敬心院に泊まるとか。それを聞いて足取りが軽いことに合点がいった。

3時頃、ゴールに決めていた桜井駅に着いた。しかし、今思い返してみると、その時、何故か満足感とか充実感を実感することはほとんどなかった。望んでいたことが実現したのだから満足できそうなのだが、結局、一人旅は私に人恋しいような寂寥感を味あわせる、そんな経験だったのかも知れない。思えば結婚以来プライベートでの一人旅は初めてだったと言うのに。

(M)